

付着生物ラーバ情報

西湾のサンカクフジツボラーバ出現数が過去最多

1 ラーバの出現状況

ラーバの調査地点は図1、出現数は表1、2、出現数の推移は図2、3のとおりです。

(1) サンカクフジツボ

ラーバは久栗坂沖で66.7個体/m³、川内沖で25.8個体/m³見られました(表1、図2)。

(2) アカザラ

ラーバは西湾平均で301個体/m³、東湾平均で356個体/m³と昨年同時期それぞれ79個体/m³、30個体/m³よりかなり多い状況です。180μm以上のラーバ出現割合は西湾で65.6%、東湾で59.8%とそれぞれの前回(7月16日)15.7%、16.0%より増加しています(表2、図3)。

(3) ユウレイボヤ

ラーバは久栗坂沖で1.7個体/m³見られました(表1)。

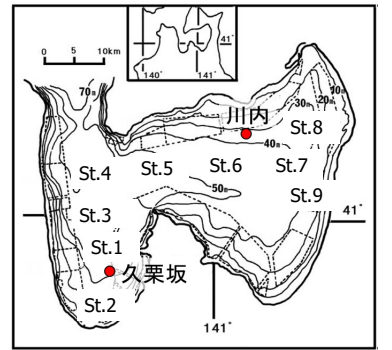


図1 アカザララーバ(St.1~9)とアカザラを除く付着生物ラーバ(久栗坂・川内)の調査地点

表1 アカザラを除くラーバの出現状況

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	単位:個体/m ³	
			ムラサキイガイ	サンカクフジツボ
久栗坂沖	R6.8.1	1.7	12.8	66.7
川内沖	R6.8.1	0.0	0.0	25.8

※久栗坂沖、川内沖は実験漁場内

表2 アカザララーバの出現状況(8月5日)

	全出現個数	180μm未満		180μm以上	
		個数	割合	個数	割合
西湾平均	301	103	34.4%	197	65.6%
東湾平均	356	143	40.2%	213	59.8%
全湾平均	331	125	37.8%	206	62.2%

2 今後の見込み

(1) サンカクフジツボ

全湾で付着直前のラーバが増加し、**西湾の出現数は過去最多**となっているので、**大量に付着する**見込みです。

(2) アカザラ

ラーバは殻長190μm前後で付着します。付着サイズのラーバ**出現割合が50%以上**となっており、**付着盛期**を迎えています。また、全湾で昨年より付着サイズのラーバ出現数がかかなり多いので、今後、**大量に付着する**見込みです。

(3) ユウレイボヤ

現在、ラーバはほとんど見られていませんが、今秋、**水温が20℃を下回ると再びラーバが出現する**と思われます。

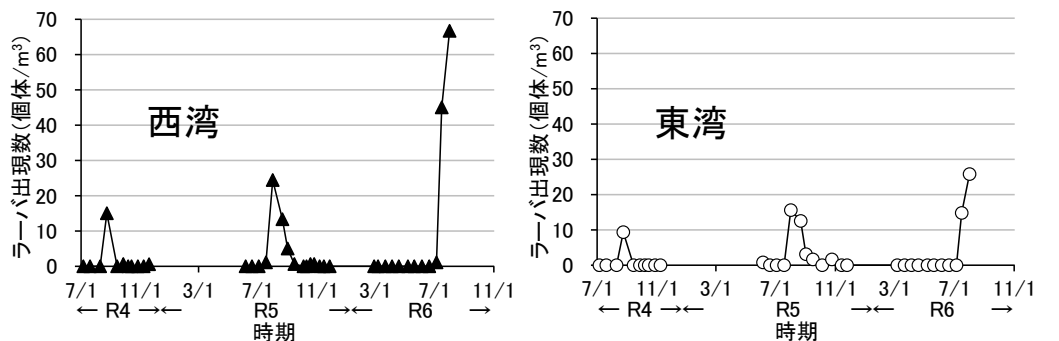


図2 サンカクフジツボラーバ出現数の推移(令和4年7月~令和6年8月)・令和元年の観察開始から現在までの最大値:西湾 59個体/m³、東湾 45個体/m³

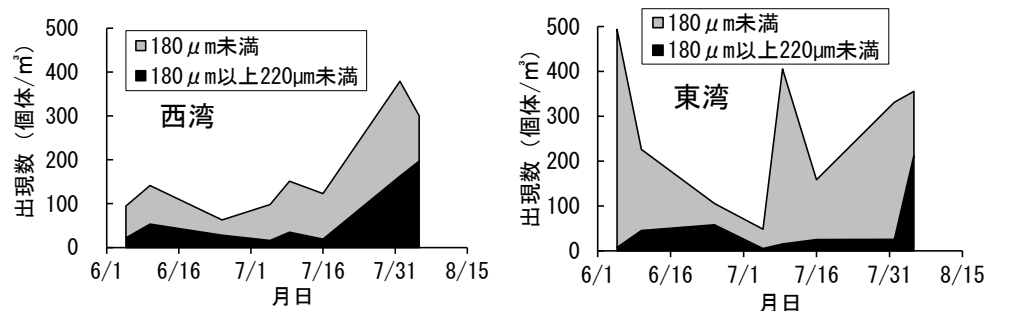


図3 西湾(St.1~4)、東湾(St.5~9)におけるアカザララーバ出現数の推移(令和6年6~8月)

